

背景

「多様で複合化した社会課題に対応していくため、幅広い世代の参画の下、地方公共団体、大学等、企業・団体、NPO、地域住民等の多様な主体の連携により、地域社会の課題解決に取り組むためのプラットフォームの構築や活用の促進を図る。その一環として、幅広い世代から地域社会の担い手を確保するため、地域の仕事や社会活動、学習機会等の情報を一元的に把握でき、それぞれの働き方のニーズや状況に応じて個々の業務・作業等を分担して行うモザイク型のジョブマッチングを含め、多様な活躍の機会が提供される仕組みの構築を図る」 (高齢社会対策大綱 (令和6年9月13日閣議決定) 抜粋)

※地域活動に参加しない理由として、「気軽に参加できる活動が少ない」「時間的余裕がない」「どのような活動が行われているか情報がない」など。(厚労省「令和4年度少子高齢社会等調査検討事業」)
※すでに様々な施策分野において拠点・プラットフォームの形成、人材育成等の取組があるものの、「地域社会」全体を俯瞰し、世代・分野横断的に地域社会の担い手を直接確保・拡大しようとする仕組みがない。

本事業の目的

地域社会の高齢化が進展する中で、**地域課題の解決に向けて、現役世代を含む幅広い世代の住民の地域活動への参画を促進する仕組み(マッチングのためのプラットフォーム)を構築する実証事業**を通じて、**効果や課題を検証し、全国展開を図る。**

スキーム

